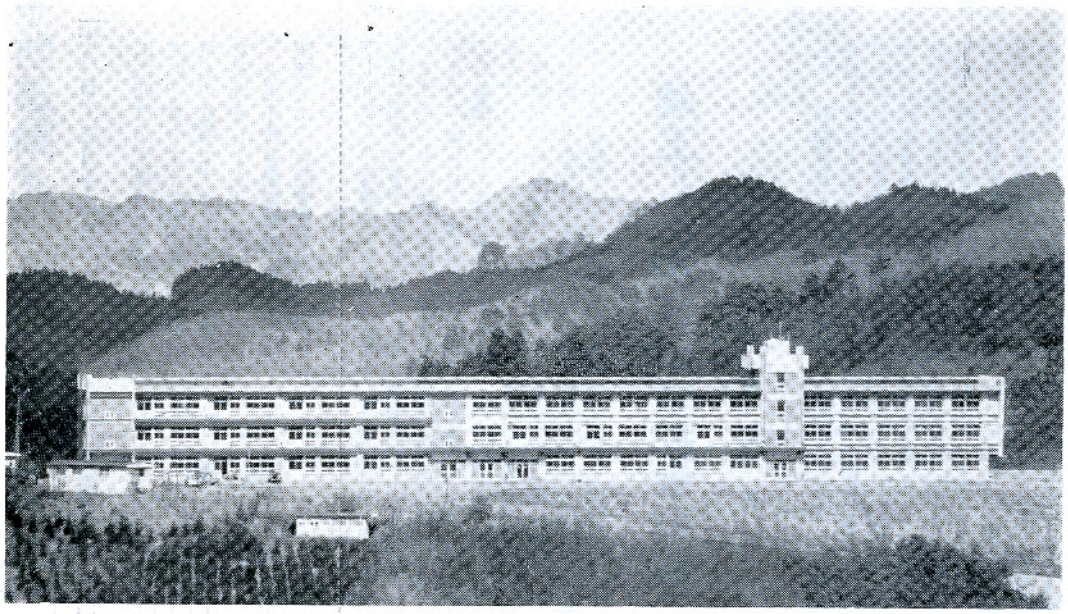
広報
さめがわ

1971
2月号
No. 207
編集兼発行
鮫川村総務課
塙町・佐藤印刷所



統合鮫川中学校舎堂々完成

―― 鉄筋3階建延べ3,470㎡…… ……535名の生徒新校舎で授業開始 ――

教育の成果を一段と向上し、すぐれた後継者の育成に資するため鮫川中、渡瀬中及び青生野中の3校を統合し、統合鮫川中学校が設置されました。新校舎は1期工事が昭和44年11月に着工され、このほど2期工事も完成し、新学期を待たずに2月17日から新校舎での授業が始められました。総工事費は、暖房、放送、水道工事費等を含め1億4千余万円で中学校対策協議会の答申にもとづき、村のほゞ中心である壇の岡に建てられました。

歴史あるこの岡にそびえ立つ白亜の校舎は、若い中学生の誇り高き学び舎として親しまれるような近代的な設計で施行され規模の大きさ、設備の充実度、環境の雄大さなど県下稀にみる校舎といわれましょう。

☆ 2月のこよみ ☆

1日　交通事故ゼロの日
3日　節　　分
4日　立　　春
8日　針 供 養
11日　建国記念の日
12日　統合鮫川中学校竣工式
17日　統合鮫川中新校舎授業開始
20日　納税表彰式
28日　全国春の火災予防運動（2週間）

☆ 21日の第3日曜日は家庭の日です。

今月の人口

人 口　6,662（−17）
男　3,374（−14）
女　3,288（− 3）
世 帯　1,214（− 3）

こころの用心・火の用心

春の全国火災予防運動!!

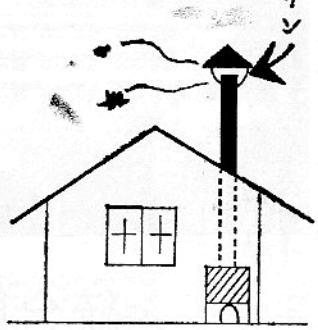
二月二十八日～三月十三日

冬期間から春先きにかけ火災の発生しやすい季節です。

特に子供の**火あそび**、**コタツ火**の始末と、風呂やカマドの火の取扱いに注意して下さい。

煙突のヒビ割れは危険です。月に二回は必ず掃除と点検をして下さい。まつすぐな煙突は火の粉が飛んで危険です。必ず火の粉止めをつけましよう。

火災予防運動期間中に鮫川村消防団では、**火防宣伝**と**村内一斉火防診断**を実施します。



お話の広み (46)

竣工した統合中学校本校舎

村長　石田卯子八

統合鮫川中学校の本校舎建築工事は、去る一二月末日までに大部分の工程を終り、その後水道、暖房、電気工事などの附帯工事や、各種施設機構のテストを行っていましたが、二月一二日をもつて待望の竣工式を行ない一七日から授業を初めました。

起工以来両年度を通じ多数の皆様から頂きました物心両面にわたるご協力ご激励に対し心からお礼を申し上げます。

更に昭和四六年度計画の体育館とプールその他の建設が終れば三ヶ年の整備計画が全部完成することになります。

竣工した本校舎は、間口の全長一〇八m、鉄筋コンクリート構造三階建、近代建築の粋を集め、堂々その雄姿を壇の岡に現わしました。

みどりの岡のたくましくもスマートなこの校舎は、富田方面から見た姿が一番美しいといわれていますが、とにかく村の一偉観というのに適わしく現在の村の実力の象徴といえないこともありません。

今はなつかしい想い出となりましたが、今から二十数年前、昭和二二年に初めて六三制教育が実施され、義務教育としての中学校を発足させたとき、わが村ではオンボロの公会堂を板で仕切つていくつかの教室を作り、現在の中野区公民館も借りて一教室とし、西野西山、渡瀬の各小学校には一、二年の生徒を分室として収容するなど、苦心の分散教育から初めたものでした。

草創当時の一村一校主義は、その後渡瀬、青生野の併設中学校の出現で変更され、校舎校地も従つて小規模のものになつていました

偶々昭和四二年一〇月渡瀬小中学校が不慮の火災で焼失するという災厄に見舞われ、この不幸なでき事が、統合中学校建設の一つの動機を作つたわけであります。

衆めた委員さんたちが衆議をつくした結果、壇の岡をもつて最適地であるとの答申をされました。

高燥にして豊かな太陽の岡、澄みきつた清浄の大気、広く阿武隈の山なみを展望する雄大な景観、世俗の騒音をシャットアウトしたこの環境は、古代民族が学ばずして自ら選んだ集落住居の跡であり赤坂館の武者たちが兵馬の調練に使用したといわれる歴史の地でもあります。計画の段階で現地調査に来村した県教育委員会の係員が思わず発した「中学校の教育環境としては県下のピカ一」といつた言葉が思い出されます。

統合中整備計画はここに第二年度を終つたが、更に第三年度の体育施設や道路、スクールバスなどが残つております。全計画完成に至るまで一層のご協力を切にお願いいたします。希うところは、この近代的な教育施設が、優れた環境もふくめて十分に活用され、教育効果を高めつつ豊かな人間性をもつ有能有為の人材育成に寄与されることであります。

昭和四二年一二月、村に設けられた中学校対策協議会は、村長の諮問に対し、慎重な検討、調査、審議を続け、時間をかけて一村一中学校をつくるべしとの結論に達したのであります。

いつの時代にも学校建築には位置の選定という困難な問題を伴ないます。しかしこれも村の英知を

☆自衛官募集中☆
―自衛隊はあなたの活躍の場所―
自衛隊は日本の平和を守る大きな任務があります。
●若いエネルギーを思いきり発揮できる。
●健康で充実した生活が送れる。
●自然に親しみ技術を学べます。
（応募の手続き等くわしいことは役場総務課におたずね下さい）

人事

◉収入役に前田季男氏を選任

一二月二八日前田季男氏は石田村長から三たび収入役に選任され議会の同意を得て就任しました。

◉任期満了に伴い一月二七日に招集された村議会で選挙管理委員及び補充委員の選挙を行つた結果次のとおり決定しました。

委員（西山）斉藤武
〃（赤坂中野）鈴木輝男
〃（赤坂東野）鈴木源義
〃（渡瀬）遠藤幹雄
補充員（赤坂東野）岡部豊
〃（富田）松本栄一
〃（青生野）矢吹由栄
〃（赤坂西野）増谷新光

なお二月二日の選挙管理委員会で委員の互選により、委員長に鈴木源義氏、同職務代理者に斉藤武氏が選ばれました。

おめでた

十二月

青生野　藤田孝之　父　昇
広畑　蛭田富子　〃　彦忠
田苗下　蛭田さとみ　〃　茂芳
中沢　石井樹美代　〃　一男
巡ケ作　矢吹ゆかり　〃　寛
名下　薄葉正勝　〃　正一
赤柴　関根英樹　〃　英也
大平　関根みち子　〃　勝義
関下　松本寿枝　〃　幸典

議会だより

白河地方広域市町村圏整備組合への加入を決める

第十二回議会定例会は十二月十六日に招集され、次の七議案が原案どおり可決、同意されました。

◉議案第四十八号　職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

人事院勧告にもとづき職員の給与ベースアップにともなう条例の改正です。

◉議案第四十九号　昭和四十五年度鮫川村一般会計補正予算（第九号）

主として条例の一部改正による職員の給与ベースアップにともなう補正予算で、地方交付税三百五十四万六千円その他物件費等の節減で、四百五十六万二千円のベースアップによる職員の給与を補正しました。

◉議案第五十号　昭和四十五年度鮫川村国民健康保健特別会計補正予算（第二号）

健康保険関係では、国県支出金六七万円の財源で、職員の給与ベースアップの補正三十九万五千円直営診療所への繰出金百二十二万五千円が才出増となり、不足分は予備費より充当されました。

直営診療所関係では診療収入二百十万円の財源で、心電図購入費三十一万円、医薬品材料費百七十五万円が補正増となり残りは予備費に繰入れられました。

◉議案第五十一号　白河地方広域市町村圏整備組合への加入について、

かねてより問題になつていた広域市町村圏加入ですが、このほど正式に白河地方に加入することになりました。

◉議案第五十二号　収入役の選任に同意を求めることについて

十二月二十七日をもつて任期満了となる収入役に現収入役の前田季男氏が満場一致で三選されました。

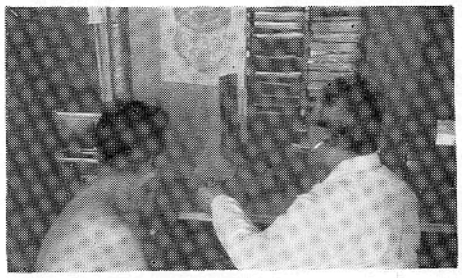
◉選挙第三号白河地方広域市町村圏整備組合議会議員選挙について

指名推せんにより議長の藤田卓三氏が選ばれました。

◉議案第二号　旧軍人等に対する恩給処遇の改善に関する意見書

◉議案第三号　国民年金法の一部改正に関する意見書

ともに議員提出議案で原案どおり可決されました。



定期に健康診断をうけましょう。

明るい家庭は——健康から

無火災で楽しい毎日を!!

鮫川消防団は四四年度に無火災消防団として消防団最高の名誉である金馬旛を獲得しました。

それ以後も引続き無火災の記録を伸ばし今年の二月一日現在で、六七〇日間無火災の記録を持続しています。この輝かしい記録を維持するためには、徹底した予防消防と住民一人一人の防火思想の高揚が大切です。今後も無火災の実績を継続するようみんなで努力しましょう。

消防団はこうした願いをこめ、去る一月六日に出初式を行い、無火災の誓をあらたにしました。

◇三ケ年以上無火災分団表彰◇

◉第二分団　五年以上無火災

◉第五〃　五年以上〃

◉第一〃　四年以上〃

◉第三〃　三年以上〃

◉第四〃　三年以上〃

◇優良消防団員表彰

◉第一分団　円井　勝夫

◉第二〃　生田目俊光

◉第三〃　本郷　栄治

◉第四〃　芳賀　正一

◉第五分団　矢吹　寛

◉第六〃　生田目定之助

◉第七〃　岡部勝正

◇一般功労者

◉大字西山（警報連絡所）　市川　正



写真は46年出初式の水勢試験

「一月六日」鮫川村消防団の出初式

青年のために篤志寄附

このほど、青生野森田俊策氏の長男である俊一氏より、青年の教育に役立ててくださいと一万五千円の寄附の申出がありました。御好意に感謝し、村公民館ではさつそく、青年のためのスポーツ用具を購入することにいたしました

おくやみ

十二月

西	高坂	ムキ	86才 世帯主
中沢	円谷美千男	0才	末之助 正雄
下木之内直吉		56才	シマ
伏木田	鈴木	信次	66才 幸男
中山	山形	アイ	62才 末雄
西野沢	芳賀	ミト	72才 文雄

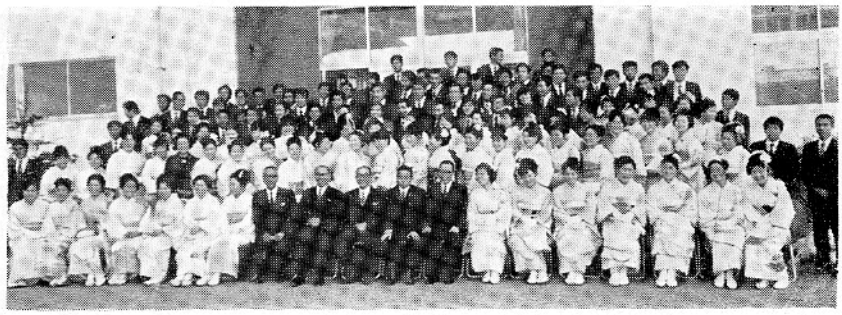
一月

岫	長	北条	満 45才 忠夫
青生野	石塚	要	69才 本人
遠ケ竜	森	波治	76才 一一
関口	藤田シゲノ		57才 文雄
青生野	山形	巌	17才 享

一月

伊柳沢	水野	玲子	父 輝男
官代	前田久美子		〃 英雄
発地岡	高野	伸子	〃 長二
浅屋敷	鈴木	照美	〃 幹宏
遠ケ竜	矢吹	恵子	〃 三郎
石ノ花	舟木	律子	〃 利美





成人のよろこびもひとしお

成人おめでとう

身も心も健かに 一五一名が社会人に!!

鮫川村の成人式は一月十五日に村公民館で行われました。

村外に就職していても成人式は是非故郷でと参加希望者が殺到し、一五一名の若人が一堂に会しました。

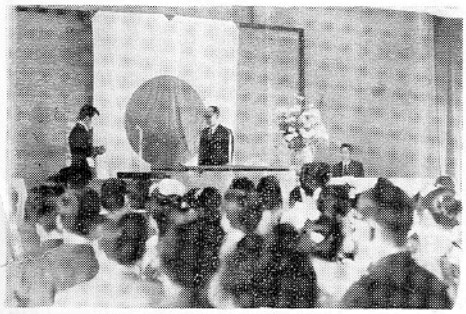
式は国歌斉唱に次いで、村長・公民館長から式辞とあいさつがあり、村長から各人に成人証書が授与されました。

多数の来賓から祝福された若人たちは、現代に生きる青年らしく堂々と、しかも謙きよな気持で成人の喜びをかみしみていました。

成人代表の鷺野谷重一君（富田）が、社会人としての自覚を深め立派な人生を歩みますと力強く誓のことばを述べ、また阿久津トシ子さん（西山）、菊地吉雄君（渡瀬）、柿沼源義君（赤坂東野）から成人になつた感想文の発表があり、いずれも社会人として価値ある存在になりたい、そして現在自分達が歩んでいる道を反省するとともに自分の進む道が今後どのような方向に進むべきか自分の目で自分の肌でしつかり確かめたい……と発表し、参会者の信頼を高めました。



華やかなムードのあふれる成人式



力強い鷺野谷重一君の誓のことば



期待に反しないよう…と感想を述べる菊池吉雄君

富田のカゴ屋さんとして親しまれていた鷺野谷英雄氏夫妻は去る一二月六日東京都に転出されましたが、永らく御世話になりましたと富田区に二万円を寄附されました。

鷺野谷さんは、以前組長として組内の納税完納に努め、納期内完納の基礎を築いた方です。この篤志に対し紙上から厚く御礼申し上げます。

（富田区長）

この善意

赤坂東野字内ケ竜の宗田稔さんは、昨年たばこ（二〇ケ入）一箱を拾い、駐在所に届けていたが落し主がわからず本人に交付されました。

しかし宗田さんはこれを、福祉施設に贈つて下さいと村に申し出たので役場ではさつそく塙老人ホームに贈りよろこばれました。

ご苦労さまでした

永年鮫川村統計調査員を勤められた、次の六名の方がこのたび退任され、二月二〇日に行われた納税表彰式の席上、その労をにぎらい感謝状と記念品が贈られました

◇退任者◇

石井草　中川西正一
福原　蛭田　勲平
関口　藤田　一朗
江竜田　芳賀　寛一
青生野　鈴木　清司
青生野　長井　久男

◇新任統計調査員◇

官代　前田　正孝
福原　蛭田　康之
関口　下重　金治
下　木之内喜久雄
青生野　岡部　貞雄
青生野　森田　森嗣

火災から部落を守る
ザ・ガードマン



新宿・道少田夜警組では毎年冬期間になると部落民が交代で部落内を夜中に三回巡回し、火災と盗難の予防に努めています。

この夜警は自警組織ですが、明治二十五年頃から継続されている長い歴史をもつもので災害の予防に大きく貢献しています。

このような自警意識は何より貴重なものです。今後も長く部落のために継続されるよう望まれています。

火の用心
マッチ一本
火事のもと

毎日が交通事故ゼロの日であることを願って

昨年四月一日からスタートした毎月一日を「交通事故ゼロの日」の推進運動があらゆる団体等の協力で趣旨の徹底が図られていますが、この運動も一寸した不注意や、心なきドライバーに裏ぎられた感があり、一年毎に死傷者の数が増えてゆくことは憂えるべきことであり、また人ごとでないと肝に命じておかなければならないと思います。幸いにして本村内での死亡事故はありませんが道路は狭いので一寸した油断で思わぬ事故を招くことがあります。

歩行者だからといって油断せず又運転者の方には特に注意していただき、毎日毎日が「交通事故ゼロの日」であるよう皆んなで協力しましょう。

◇交通安全標語◇

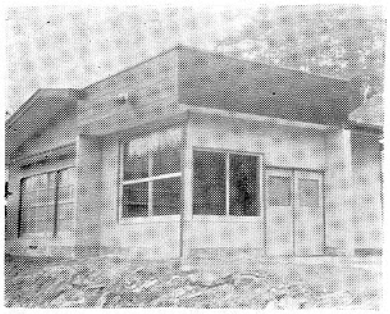
◉酒のむな車ぐらぐら目がまわる
富田小六年　船木　常良

◉ハンドル持つなら飲まない努力
鮫小六年　高木美代子

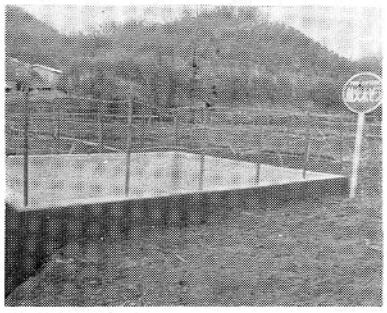
◉酒のみ、よそ見は事故のもと
渡瀬小六年　河野　広美

◉これくらいと思う酒飲み事故の
もと　西野小三年　矢吹　茂

◉運転手飲めば車も二日酔
鮫小五年　田中　義一



警察官西野駐在所（60㎡）が、工事費185万円で もとの位置の滑石地内に新築されました。



大型の防火水そう（40立方米）がこの程2基完成しました。西山の水口地内と赤坂西野字酒垂地内に設置され地元の人たちからよろこばれています

戦没者の死亡場所を明らかに

過ぐる戦争の間、軍の機密保持等の事由から死亡公報中戦没者の死亡場所を明らかにしないまま遺族に死亡を告知したものがありました。

このことは道義的にも放置できないことで、遺族の心情にもかんがみ今後死亡場所の細部を調査し遺族に通知するという死亡公報の補完を行うことになりました。

一、対象者

(1)旧陸軍関係
昭和二十年一月一日から昭和二十一年六月十四日までの間に発行した死亡公報のもの

(2)旧海軍関係
昭和十七年二月三日から昭和二十二年四月三十日までの間に発行した死亡公報のもの

二、死亡公報の補完通知を受けることを希望する遺族は申立書を提出することになります。

詳細は役場窓口で問い合せて下さい。

おことわり

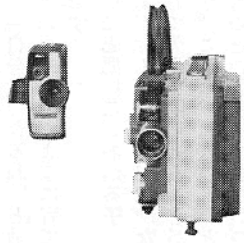
鮫川史（27）及び郷土の峠路(2)は紙面の都合により3月号から掲載します。

お年玉

年賀ハガキのお年玉くじで、西山の関根勝さんが見事一等に当選し、このほど八ミリ撮影機と映写機一式を贈られました。その他村内で三等以上の上位当選者が現在のところ三名もおります。

一等　西山　関根　勝
二等　中野　大池　ノブ
三等　西野　江田　庄市
〃　中野　斉須　みよ





待ち遠しい入学

今年の四月、小学校に入るお子さんは、昭和三十九年四月二日から四十年四月一日までに生まれた子供さんたちで、十二月一日現在住民基本台帳で調査したところによると、計一三四名で昨年より一名少なくなっております。

入学予定のお子さんは次のとおりですが、なまえがちがっていたり、もれていましたら二月末日までに教育委員会に申し出下さい。

（電話四二番）

◎青生野小学校

児童名　（保護者）

棚井正治（朝己）甲賀幸重（武美）吉成洋二（義雄）吉成典男（義郎）岡部瞳（喜一郎）本多米蔵（清一）土手内隆志（利雄）金田栄子（七五三明）笹島敏行（幸八）平久江光江（勝雄）生田目誠（忠之助）岡部静子（伝）中島明美（唯男）笹島次雄（留吉）

（男九名　女五名　計十四名）

◎渡瀬小学校

赤坂邦弥（基）赤坂美枝（貞男）遠藤康雄（慎一郎）菊地辰雄（末次）蛭田典子（吉郎）芳賀力（福雄）芳賀和子（忠雄）藤田博文（知義）小松イチ（幸一）下重正人（正佳）星美智子（栄）小野瀬時子（誠）根本正（長一）藤田敏男（義雄）角田いずみ（武雄）

（男八名　女七名　計十五名）

◎富田小学校

石井直光（一男）我妻利美（一男）西戸勝美（民彦）赤坂富男（虎男）赤坂末雄（秀雄）松本宇子（精一）添田浩志（剛弘）穂積ちい子（一男）松本里美（克己）小川吉次（久之）鈴木はるみ（作栄）

（男六名　女五名　計十一名）

◎鮫川小学校

高木加代子（市郎）高木五月（長雄）小滝健弘（健一）高木真一（正則）杉山まゆ（忠男）鈴木祐子（市悠）南条浩子（仁孝）前田恵子（吉之助）小松茂隆（誠二）小林令子（春男）大池弘人（弘義）白坂忠夫（真平）板橋二三枝（源良）円井淳子（栄一）矢吹得蔵（幸男）高久正夫（正）酒井紀代子（国光）緑川典子（清幸）円井千春（満正）円井やよ枝（富宣）円井恵美子（幸男）円井義男（勝夫）円井真由美（七之助）鈴木康雄（辰男）芳賀洋子（重光）渡辺みい子（寅蔵）矢吹宏則（義照）水野祥子（博和）佐藤浩子（周二）荒川恵治（春男）窪木美穂子（美義）中川西博之（博）中川四敏子（春美）宗田隆幸（稔）宗田勇郎（秀郎）前田ゆかり（武久）中川西明美（春男）中川西マサ子（安正）舟木明美（利次）長久保浩寿（利生）蛭田誠（東）

（男十七名女二十五名計四十二名）

◎戸草分校

鈴木温子（禧穂）矢吹弓子（春治）岡部雄大（和）

（男一名　女二名　計三名）

◎東野分校

芳賀啓子（光美）芳賀美幸（清）生田目浩美（清治）森祐紀子（啓）森静樹（静）森みどり（重寿）吉田日出男（元美）吉田小百合（忠男）有賀康仁（岩男）玉木ゆかり（幸次郎）有賀久子（久男）

（男四名　女七名　計十一名）

◎西野小学校

斉藤敏雄（実）石井定己（勝男）石井正男（好美）矢吹淳（友春）鈴木宏幸（幹宏）増子学（久美）増谷みどり（猛）江田昌栄（一夫）佐藤秀子（秀雄）佐藤文子（一男）佐藤征一（弘一）吉田成一（一郎）円谷幸子（好男）舟木文枝（芳男）矢吹美紀子（弘）鈴木美富子（美佐子）

（男九名　女七名　計十六名）

◎西山小学校

生田目晴美（利夫）鈴木久美子（一実）斉藤博（一郎）根本義一（宏）水越麻利子（直一）関根みどり（章雄）山本久枝（正夫）水野一郎（茂男）関根忠徳（功男）関根節子（登）関根弥伊子（一郎）阿久津光代（作次）根本正孝（伝）松崎敦子（義一）水野充（清一）本郷正幸（伝）石井まゆみ（利勝）鈴木正幸（吉光）関根清（友保）関根明美（孝之助）生田目清（正次）石井健治（正見）

（男十一名女十一名計二十二名）

新入学生のご家庭へ

「這えば立て立てば歩めの親心」と育てました可愛いお子さんの健康診断も無事に終り、まもなく学校に入学する準備に心を配っておられることと思います。そこで入学前の家庭での心がまえとして、つぎのようなことをお願いしたいと思います。

一、ランドセルは早めに

ランドセルを買つて与えると、いろいろ入れて背負い喜んでおります。これは、子どもが学校へ入学できるうれしさ一ぱいの姿であり、いろいろと空想しているものです。

二、学校に楽しい夢を

「そんなことでは学校に入れないぞ」「行儀が悪くてはダメ」「○○してはダメ」と親が神経質になつて子どもを萎縮させてはならない。子どもの悪い点についてはなぜ悪いのかをよく説明して理解させるようにして下さい。

三、自分で出きる喜びを

自分でシャツを脱いだり着たりできたときはうれしいものです。自分のことは自分でする習慣を身につけさせてほしいものです。

四、自分から進んでやる子に

「わたしがやります」「わたしにやらせて」と積極的に行動する子どもは、明るく生き生きと学校生活ができます。何もしないで、だまつている子どもでは困りますそのためには、子どもにできることは親たちがやつてしまわないで「やられるかな」「できるかな」とそのことに関心をもたせることそして、「自分でできるね」と励まして進んでやらせるように育てることです。

五、良いこと悪いことわかる子

子どもがけんかしたり、危険な遊びをして先生を困らせることがあります。これは、他人のものと自分のものとの区別ができなかつたり、人にめいわくをかけるから悪いこと、危いからしてはいけないことなどをよくわきまえていないからである。そこで、子どものやること、やつたことについて、よく善悪をわからせておかなければなりません。親が叱るだけでは子どもが納得しないし、逆に反抗するようになることもあります。感情的になりやすいので、気長く子どもの心を考えて教えることが大切です。

富田小学校長　橋本久司